

令和2年3月5日

各 学 部 長
地 域 創 造 学 環 長
光 医 工 学 研 究 科 長
創 造 科 学 技 術 大 学 院 長
電 子 工 学 研 究 所 長
グ リ ー ン 科 学 技 術 研 究 所 長
各 学 内 共 同 教 育 研 究 施 設 長 殿
イ ノ ベ ー シ ョ ン 社 会 連 携 推 進 機 構 長
国 際 連 携 推 進 機 構 長
安 全 衛 生 セ ン タ ー 長
男 女 共 同 参 画 推 進 室 長
附 属 図 書 館 長
事 務 局 長
技 術 部 長
保 健 セ ン タ ー 所 長

学 長

新型コロナウイルス感染症に関する就業上の取扱いについて（通知）【第2報】（抄）

標記については、令和2年2月19日付け「新型コロナウイルス感染症に関する就業上の取扱いについて（通知）【第1報】」により通知しているところですが、新型コロナウイルス感染症の流行が確認されている地域が拡大していることを受け、新型コロナウイルス感染症に関する就業上の取扱いについて、別紙のとおり定めましたので、教職員に周知していただくとともに、遺漏ないようご対応願います。

なお、第1報から変更した事項及び変更していない事項は、下記のとおりです。

また、令和2年2月19日付け「新型コロナウイルス感染症に関する就業上の取扱いについて（通知）【第1報】」は、本日をもって廃止します。

記

第1報から変更した事項

- ・ 新型コロナウイルス感染症のまん延を防ぐために学長が必要と認める教職員に関する就業上の取扱いの対象となる教職員（具体的には、次表のとおり。）

変更前（第1報）	変更後（第2報）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く者（解熱剤を飲み続けなければならない者も同様） ・ 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある者 ・ 令和2年1月以降に、中華人民共和国湖北省又は浙江省に滞在した者 ・ 令和2年1月以降に、湖北省滞在者又は浙江省滞在者と濃厚接触があった者 ・ 新型コロナウイルス感染症が確定した者と濃厚接触があった者 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く者（解熱剤を飲み続けなければならない者も同様） ・ 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある者 ・ <u>外務省が公表する感染症危険情報でレベル3以上とされた地域に滞在した者であって、帰国したときから14日経過していない者</u> ・ <u>外務省が公表する感染症危険情報でレベル3以上とされた地域に滞在し、又は滞在した者と濃厚接触があった者であって、濃厚接触があったときから14日経過していない者</u> ・ 新型コロナウイルス感染症が確定した者と濃厚接触があった者であって、濃厚接触があったときから14日経過していない者

【外務省が公表する感染症危険情報でレベル3以上とされた地域について】

外務省が公表する感染症危険情報は、4段階のレベルで示され、上から2番目のレベルにあたるレベル3は、「渡航は止めてください。（渡航中止勧告）」に該当する場合に発出される。

なお、令和2年3月4日時点において、具体的には次の地域が該当する。

- ・ 中華人民共和国湖北省全域及び浙江省温州市
- ・ イラン・イスラム共和国コム州、テヘラン州及びギーラーン州
- ・ 大韓民国大邱広域市並びに慶尚北道慶山市、永川市、安東市、漆谷郡、義城郡、星州郡、清道郡及び軍威郡

詳細は、外務省海外安全ホームページにおいて確認することができる。

<https://www.anzen.mofa.go.jp/>



第1報から変更していない事項

- ・ 教職員に対する就業上の措置
- ・ 教職員における手続き

（本件担当）

国立大学法人 静岡大学
総務部職員課

電 話 054-238-4419

F A X 054-238-3274

新型コロナウイルス感染症に関する就業上の取扱い

I 新型コロナウイルスに感染した教職員（大学の非常勤講師を除く。以下同じ。）に関する就業上の取扱い

1. 新型コロナウイルスに感染した教職員に対する就業上の措置

- ・ 就業禁止とする。
- ・ 就業禁止期間の末日は、原則として、治癒日とする。

2. 就業禁止となった教職員における手続き

- 1) 新型コロナウイルスに感染したことにより就業禁止となった教職員は、新型コロナウイルスに感染した旨を部局の総務担当に連絡するとともに、医療機関等の指示に従うものとする。
- 2) 同教職員は、治癒したときは、医療機関等の治癒証明書等を部局の総務担当に提出するものとする。

II 新型コロナウイルス感染症のまん延を防ぐために学長が必要と認める教職員に関する
就業上の取扱い 【別添のフローチャート参照】

1. 新型コロナウイルス感染症のまん延を防ぐために学長が必要と認める教職員に
対する就業上の措置

- ・ 就業禁止とする。
- ・ 就業禁止期間の末日は、原則として、在住する地域の各保健所に開設される「帰国者・接触者相談センター」の指示、医療機関等の検査結果等をもとに判断した日とする。

2. 該当者とは

新型コロナウイルス感染症のまん延を防ぐために学長が必要と認める教職員とは、次に掲げるいずれかの者をいう。

- ・ 風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く者（解熱剤を飲み続けなければならない者も同様）
- ・ 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある者
- ・ 外務省が公表する感染症危険情報でレベル3以上とされた地域^{注1}に滞在した者であって、帰国したときから14日経過していない者
- ・ 外務省が公表する感染症危険情報でレベル3以上とされた地域^{注1}に滞在し、又は滞在した者と濃厚接触^{注2}があった者であって、濃厚接触^{注2}があったときから14日経過していない者
- ・ 新型コロナウイルス感染症が確定した者と濃厚接触^{注2}があった者であって、濃厚接触^{注2}があったときから14日経過していない者

注1 外務省が公表する感染症危険情報は、4段階のレベルで示され、上から2番目のレベルにあたるレベル3は、「渡航は止めてください。（渡航中止勧告）」に該当する場合に発出される。

なお、令和2年3月4日時点において、具体的には次の地域が該当する。

- ・ 中華人民共和国湖北省全域及び浙江省温州市
- ・ イラン・イスラム共和国コム州、テヘラン州及びギーラーン州
- ・ 大韓民国大邱広域市並びに慶尚北道慶山市、永川市、安東市、漆谷郡、義城郡、星州郡、清道郡及び軍威郡

詳細は、外務省海外安全ホームページにおいて確認することができる。

<https://www.anzen.mofa.go.jp/>



注2 濃厚接触かどうかを判断する上で重要な要素は二つあり、①距離の近さと②時間の長さです。必要な感染予防策をせずに手で触れること、または対面で互いに手を伸ばしたら届く距離（目安として2メートル）で一定時間以上接触があった場合に濃厚接触者と考えられます。

新型コロナウイルス感染症対策専門家会議では、対面で人と人との距離が近い接触（互いに手を伸ばしたら届く距離で2メートル程度）が、会話などで一定時間以上続き、多くの人々との間で交わされる環境は感染を拡大させるリスクが高いとされています。

【引用元】 厚生労働省作成「新型コロナウイルスに関するQ & A（一般の方向け）」（令和2年3月2日時点版）

3. 就業禁止となった教職員における手続き

- 1) 「2. 該当者」に該当したことにより就業禁止となった教職員は、直ちにその旨を部局の総務担当に連絡するとともに、在住する地域の各保健所に開設される「帰国者・接触者相談センター」に相談し、同センターの指示に従うものとする。
- 2) 同教職員は、相談結果及び検査結果（帰国者・接触者外来を設置している医療機関において検査を受けた場合に限り。）を部局の総務担当及び保健センターに報告するものとする。

報告にあたって、検査結果報告書がある場合は、同報告書を部局の総務担当に、同報告書の写しを保健センターに提出するものとする。

静岡大学保健センター静岡支援室 054-238-4468

静岡大学保健センター浜松支援室 053-478-1012

- 3) 同教職員は、相談結果及び検査結果を踏まえた保健センターからの連絡を受けた後に、就業を開始するものとする。

本通知内容は、今後の新型コロナウイルス感染症の流行状況、厚生労働省等からの通知、本学の産業医の意見等を踏まえて見直すことがあるため、新型コロナウイルスに関する学内周知及び関連情報を取りまとめた次のサイトを随時参照するものとする。

<https://www.shizuoka.ac.jp/news/2020/covid-19.html>



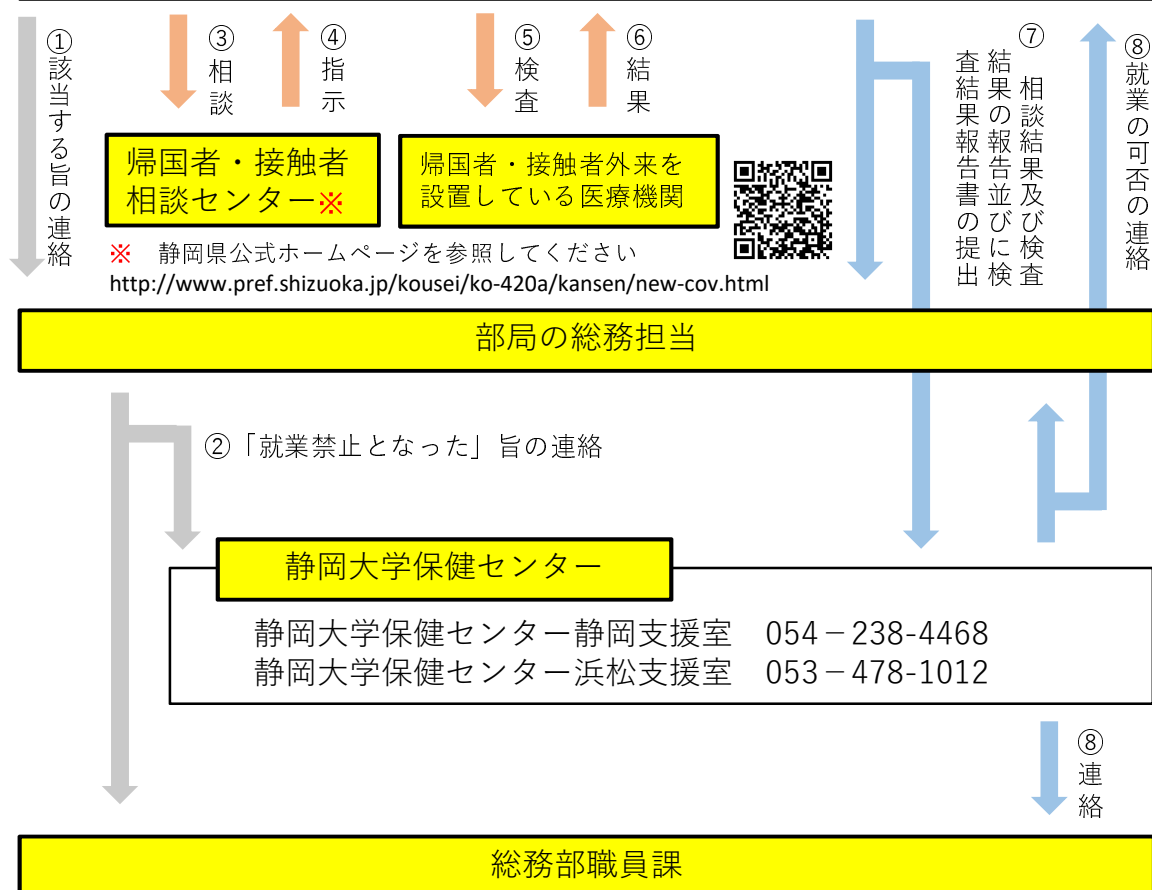
新型コロナウイルス感染症のまん延を防ぐために学長が必要と認める教職員の就業上の取扱い

教職員

次に掲げるいずれかの者については、**就業禁止**とします。
つきましては、次に掲げる者は、直ちに該当した旨を部局の総務担当に連絡するとともに、「帰国者・接触者相談センター」に相談し、同センターの指示に従って下さい。

- ・ 風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く者（解熱剤を飲み続けなければならない者も同様）
- ・ 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある者
- ・ 外務省が公表する感染症危険情報※でレベル3以上とされた地域に滞在した者であって、帰国したときから14日経過していない者
- ・ 外務省が公表する感染症危険情報※でレベル3以上とされた地域に滞在し、又は滞在した者と濃厚接触があった者であって、濃厚接触があったときから14日経過していない者
- ・ 新型コロナウイルス感染症が確定した者と濃厚接触があった者であって、濃厚接触があったときから14日経過していない者

※外務省海外安全ホームページ <https://www.anzen.mofa.go.jp/>



今後の新型コロナウイルス感染症の流行状況、厚生労働省等からの通知、本学の産業医の意見等を踏まえて見直すことがあるため、新型コロナウイルスに関する学内周知及び関連情報を取りまとめた次のサイトを随時参照して下さい。

<https://www.shizuoka.ac.jp/news/2020/covid-19.html>

